

ふじみ野

No.73

R6.5.1 発行

埼玉県ふじみ野市議会

市議会だより

CONTENTS

- 人がつながる
豊かで住み続けたいまちへ 2p
- 令和6年度予算 ピックアップ事業 4p
- 議会をもっと身近に！ **キカイの動き**
議会報告会と意見交換会を開催します 10p
- 市政を問う！一般質問 16人が政策論議 12p



働く人シリーズ⑤2 スポーツジムインストラクター

スポーツジムインストラクターは、運動の技術指導をする専門職です。スポーツジムでマシンの使い方を教えたり、スタジオでレッスンしたり、スイミングスクールで泳ぎ方を教えたりしています。

(裏表紙に関連記事を掲載)

令和6年第1回定例会では、令和6年度一般会計予算、各特別会計予算をはじめ、水道事業給水条例の一部を改正する条例など、市長提出議案28件及び委員会提出議案1件が全て可決さ

れました。市立公民館条例の廃止に対する附帯決議の動議は否決となりました。公民館に関する請願が1件提出され、審議の結果不採択となりました。

総括質疑

本会議での質疑をまとめています。



公民館を遊び倒す

人がつながる 豊かで住み続けたいまちへ

令和6年度一般会計予算

歳入 市税の動向

問 現年課税分の減額要因は。

答 個人市民税は、直近の経済動向、人口推移のほか、賃上げ等の雇用環境の改善などによる納税義務者と所得割の増額要因が上回り、約1億7千万円の増加を見込んでいた。しかし、定額減税による減収分約4億7千万円を考慮し、最終的に約2億9600万円減額を見込んだ。

法人市民税は、経済成長に伴う企業収益の伸びが予測されることから、約8200万円の増額を見込んだ。

固定資産税は、土地の負担調整措置により約9300万円の増額となるものの、家屋及び償却資産の減価償却による減額により、約900万円の増額を見込んでいる。

令和6年度水道事業会計予算

災害等に強い水道

問 事業の現状は。

答 本市の水道は、福岡

浄水場及び大井浄水場において、県水と井戸水を合わせて配水している。令和6年度に福岡浄水場と大井浄水場の耐震化対策事業がおおむね完了する。

また、耐震強度に劣る石綿セメント管の老朽管更新事業とダウンサイジング事業を現在も最優先で進めている。

問 今後の対応は。

答 福岡浄水場から配水

される区域及び大井浄水場から配水される区域について、旧行政界を境とする区域から東武東上線を境とする区域への再編事業を今後進めていく。

重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部改正

入所前のまちで手続きを一本化

問 条例改正の内容は。

答 住所地特例の対象者の要件に介護保険施設等に入所している者を加えるものである。それにより、入所前の市町村が重度心身障害者医療費を支給する扱いとなる。

問 改正の効果は。

答 介護保険施設等の施設がある自治体の財政負担が是正される。

また、重度心身障害者医療費と障がい福祉サービスや介護保険サービス

の手続きを行う自治体が一本化されることで受給者の負担が軽減される。

◆施政方針に対する質疑
青 藍 会 山田 敏夫 議員
公 明 党 川畑 京子 議員
日本共産党 塚越 洋一 議員
会派外の議員 近藤 善則 議員

◆議案に対する総括質疑
青 藍 会 加藤 恵一 議員
公 明 党 古越 孝子 議員
日本共産党 塚越 洋一 議員
会派外の議員 民部 佳代 議員

令和6年度 一般会計予算 470億7038万円

前年度比
8億540万円減

収入		主なもの	支出
市税	171億2713万円	前年度比 2億3230万円減	人件費 65億9476万円 前年度比 3億2409万円増
所得・土地・家屋・たばこ等に対する税			職員給与など
地方消費税交付金	23億6300万円	前年度比 1億2200万円減	扶助費 135億291万円 前年度比 9億1241万円増
消費税の市への割り当て分			生活援助に要する経費
地方交付税	49億円	前年度比 3億円増	公債費 45億4879万円 前年度比 5883万円増
国からもらうお金			借入れの返済
繰入金	49億5733万円	前年度比 5億3260万円減	普通建設事業費 49億4305万円 前年度比 32億3579万円減
基金からの繰入れ			建設に関する費用
建設等に係る事業債	24億2620万円	前年度比 13億9400万円減	積立金 1億5732万円 前年度比 739万円増
建設に関する借入れ			基金などに積み立てる費用

(1万円未満切捨て)

請願 不採択

公民館を廃止しないことを求める請願

公民館条例の廃止を見送り、上福岡西公民館を社会教育施設として存続させることを求める請願が市民から提出されました。

総務・教育常任委員会で請願者の説明を受け審議しましたが、本会議で賛成少数で不採択となりました。

主な賛成意見

社会教育は学校教育以外の場であらゆる世代の学習権を保障するもの。公民館という建物があり、組織体制があり、専任の職員が配置され、初めてその機能を果たすことができる。

主な反対意見

上福岡西公民館は、文化施設であるステラ・ウェストなどと同様に社会教育を含めた生涯学習事業が実施される。より使い勝手が良い多角的な活動に利用される施設へと転換していくのが望ましい。

福祉

**中高生の進学
チャレンジを後押し**

福祉総合支援事業

生活困窮世帯の中・高校生等の学習意欲や学力向上のために学習支援教室を開催し、進学のチャレンジを後押しするため、受験料等費用の一部が補助されます。

問 対象者と補助内容は。

答 子どもの学習・生活支援事業に登録している子どもが対象となる。



夢に向かって

大学等や高校を受験する年度に受けた模擬試験の受験料は高校3年生等は8千円、中学3年生は6千円を上限として補助する。

問 申請手続きは。対象者への戸別訪問時等に申請書類の配布を考えている。

答 大学・短期大学・専門学校等の入試の受験料は5万3千円を上限に補助する。

文化

**駐車場の確保で
文化施設の利便性向上**

文化施設整備事業

大井総合支所南側にある仮設駐車場の賃貸借契約が9月末で終了するため、新たな駐車場が整備されます。

問 ステラ・ウェスト駐車場等整備工事と駐車場用地取得費が予算化された。内容は。

答 市民憩の森の土地所有者から、市に対して土地の使用貸借の相談があった。駐車場を確保するため、土地の一部を購入する予算を計上した。



新たな駐車場は旧大井図書館向かい側

問 駐車場の台数は。

答 市民憩の森の一部約2200㎡の土地を購入する。また、隣接する市所有の土地に通路等を整備するため、約1200㎡の土地を購入する予定である。

問 駐車場の台数は145台程度となる見込みである。

福祉

**高齢者の安心と
活動の拠点**

大井総合福祉センター管理事業

誰もが使いやすい、高齢者や障がい者の健康増進を図るための配置変更が行われます。また、高齢者向けeスポーツのイベントが開催され、今後も楽しめる機器が導入されます。

問 配置変更の内容は。

答 現在は関越自動車道西側にある地域包括支援センター1つが、3階に移転し、障がい者総合相談支援センターとの円滑な連携が期待できる。

問 ツ事業の内容は。

答 上半期中に複数のeスポーツを体験できるイベントを開催して効果検証等を行った上で、秋頃にはeスポーツ機器を導入して事業を展開していきたい。



ステラ・ウェストの北側にある

問 また、障がい者の余暇活動のためのフリースペースも設ける。

答 eスポーツ

教育

**学校プール事業の
民間委託を全校へ**

教育支援事業

プールの老朽化や児童・生徒を熱中症から守るため、令和5年度に始まった水泳授業の民間委託が、令和6年度から全小・中学校に拡大されます。

問 民間委託を継続する理由は。

答 令和5年度に9校で実施した。民間プールは衛生的で、水も冷たくなく、子どもたちも喜んでいる。

問 年4回の授業で泳力が伸びたという声もあり、引き続き民間委託を継続する。

問 民間プールへの移動

問 手段は。

答 3校は徒歩で、それ以外の学校は大型バス、マイクロバス等を借り上げて移動することになる。

問 技術指導は誰が行うのか。

答 児童・生徒への指導は教師が行う。教師はインストラクターから指導法を教わる。

産業

**補助金で新たな
創業を促進**

商工業振興事業

創業を後押しし、安定した経営を支援するため、創業支援事業ステップアップ補助金が創設されます。

問 補助金の概要は。

答 新たに事業を開始する人に、1年目30万円、2年目10万円、3年目10万円を補助する。また、創業後5年以内の人も同様の支援をする。

問 この補助金は、既存の補助事業、空き店舗対策との併用も可能と考える。

問 どのような経費が補助対象か。

答 登記費用、改装工事、ホームページの開設費、キャッシュレートの導入費などを想定している。

問 対象件数は。年間10件程度を想定している。



商工会でも創業セミナーを開催

問 条件は。

答 市内に店舗または事業所があり、創業支援事業の認定を受けているなどの要件がある。

福祉

**民生委員・児童委員
をサポート**

民生委員・児童委員事務

民生委員・児童委員の活動の負担軽減を図り、新たな担い手を育成するため、民生委員活動の補佐・補助を行う制度が導入されます。

問 制度の内容は。

答 協力員を必要とする民生委員・児童委員が協力員になつてもらう人を一人候補者として選び、地区民生委員・児童委員協議会の会長が適格性を判断した上で、市長が協力員として委嘱を行う。

問 活動の負担軽減に加え、状況により複数人で訪問できる安心感、新たな地域福祉の担い手となる人材の育成も期待できる。

問 協力員は見守り活動の補助や、簡易な訪問、地域福祉のイベント等の参加や周知・啓発活動等の協力を行うボランティアとして活動する。

問 活動費として月額1500円を支給する。

問 導入の効果は。



一緒にサポート

条例廃止
賛成多数で可決

上福岡西公民館を
多様なニーズに応える施設に
市立公民館条例を廃止する条例

上福岡西公民館を廃止する条例提案があり、審議の結果、賛成多数で可決されました。廃止条例可決後、議員提案による附帯決議の動議がありました。賛成少数で否決となりました。

なお、令和6年度一般会計予算で上福岡西公民館は文化施設として整備する予算が計上されました。

問 文化施設で公民館事業を行う理由は。

答 社会教育事業を含めた生涯学習事業など公民館事業に加え、文化芸術、文化活動の場としての役割も担い、市民が利用しやすく、市民の交流が生まれ育まれる施設へ転換するためである。

問 文化施設になった場合、公民館運営審議会や上福岡西公民館の利用者懇談会はどうなるのか。

答 公民館運営審議会は引き続き、その役割を継承する審議機関を設置していく。

また、利用者懇談会は人のつながりが持てる組織として継続できるように調整している。

問 社会教育は国家権力からの介入があつてはならない。どのように条例

例等で規定するのか。

答 教育委員会事務局組織規則に社会教育事業を推進する規定を設けた。

問 事業を行う上で、憲法や社会教育法などは遵守されるのか。

答 その通りである。



上福岡西公民館の新たな扉を開く

条例改正
全員賛成で可決

行政手続きの
オンライン化の推進
行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正

デジタル技術を活用した行政手続きのオンライン化により、市民サービスの向上を図るため、必要な条例の一部が改正されました。

問 条例改正の内容は。

答 いままで書面で必要とされていた署名や押印、本人確認については、個別の条例等が定められているが、規定に関わらず、オンラインで代替措置ができるという規定を定めた。

また、手数料についてもオンラインで納付ができる規定も定めた。

問 具体的にどのような分野の何ができるのか。

答 例えば、自転車用ヘルメットの購入に対する補助金の申請と決定を、市役所に郵送や窓口

で手続きをする代わりに、全てオンラインでできるなどの事例が考えられる。

また、今後どのような手続きに拡充していけるか、全ての事業で対面での手続きがオンライン化できるか一つ一つ検討していく。



オンライン化で市民の手間を削減

条例改正
全員賛成で可決

持続可能な
介護保険制度のために
介護保険条例の一部改正

令和8年度までの第9期介護保険事業計画に基づいて、持続可能な制度の維持と、被保険者の負担軽減を図るため、3年に一度の保険料の見直しが行われました。

問 本市の介護給付費の状況、今後の見込みは。

答 要支援・要介護認定者数は増加傾向にあり、要介護認定率は令和5年の17・5%から令和8年には19・1%と増加する見込みである。認定者も約500人増加し、約5700人となる見通しである。

問 介護給付費全体では第8期の決算見込み約231億円に対し、第9期の3年間で約283億円を見込んでいます。保険料抑制のための取り組みは。

答 介護保険給付費等準備基金を取り崩すことにより、介護保険料の抑制を図っています。それにより、基準額は6万9千円に抑えることができました。



いつまでも安心して暮らせるように

また、国標準の13段階の所得区分に加え、市独自に高額所得者を対象に4段階を設定し17段階とした。それにより所得再分配機能が強化され、保険料基準額を抑制できる。

条例改正
賛成多数で可決

水道料金ついに値上げ
水道事業給水条例の一部改正

水道事業給水条例の改正案が賛成多数で可決され、合併に伴う平成20年の料金統一以来、初めて水道料金が改定されます。料金改定は10月1日施行で、具体的には12月検針分から新料金となります。

問 モデルケースでいくらの値上げになるのか。

答 夫婦と子ども1人の想定で、口径13mm、1カ月の使用量20㎡の場合、税込みで現行は1933円、改定後は2361円で差額は428円となる。個人事業主で口径20mm、使用量65㎡の場合は8168円から9748円で、差額は1580円となる。

問 条例改正に至る経緯は。

答 施設更新の精査や企業債の利用、施設のダウンサイジング、職員の削減など様々な取り組みを行ってきた。また、加入金収入も好調で、県内でも比較的安価な料金を維持していたが、必要な経費を水道料金収入で賄えていなかった。

ここで燃料価格や物価高騰、投資・財政計画の将来シミュレーションを行ったところ、か



浄水場の耐震化も進む

なり苦しくなることが分かり、このタイミングで改定する。

賛成

来年度は県水も上がる。いま改正すべき。改正しても県平均より安い。

反対

低所得者への負担軽減がない。値上げは来年10月まで見送るべき。

令和6年第1回定例会の提出議案等と審議結果

●全会一致で可決した議案

議案番号	議案名	議決結果	議案番号	議案名	議決結果
第1号議案	令和5年度ふじみ野市一般会計補正予算(第8号)	可決	第14号議案	ふじみ野市監査委員に関する条例の一部を改正する条例	可決
第2号議案	令和5年度ふじみ野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	第17号議案	令和6年度ふじみ野市国民健康保険特別会計予算	可決
第3号議案	令和5年度ふじみ野市介護保険特別会計補正予算(第4号)	可決	第18号議案	令和6年度ふじみ野市介護保険特別会計予算	可決
第4号議案	令和5年度ふじみ野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	可決	第21号議案	令和6年度ふじみ野市下水道事業会計予算	可決
第5号議案	ふじみ野市手数料条例の一部を改正する条例	可決	第22号議案	ふじみ野市文化施設整備事業建設工事請負変更契約の締結について	可決
第6号議案	ふじみ野市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例	可決	第23号議案	ふじみ野市道路線の廃止について	可決
第7号議案	ふじみ野市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例	可決	第24号議案	ふじみ野市道路線の廃止について	可決
第8号議案	ふじみ野市重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	第26号議案	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
第9号議案	ふじみ野市介護保険条例の一部を改正する条例	可決	第27号議案	訴えの提起について	可決
第10号議案	ふじみ野市立児童発育・発達支援センター条例の一部を改正する条例	可決	第28号議案	ふじみ野市税条例の一部を改正する条例	可決
第11号議案	ふじみ野市空家等対策の推進に関する条例の一部を改正する条例	可決	委第1号議案	市長の専決処分事項の指定についての一部を改正することについて	可決
第12号議案	ふじみ野市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決			

●賛否が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対

議案番号	議案名	議決結果	青藍会							公明党				日本共産党				会派に属さない	会派に属さない	会派に属さない	会派に属さない	会派に属さない
			川島秀男	前田広子	鈴木宏樹	板倉篤	原田雄一	加藤恵一	小林憲人	山田敏夫	古越孝子	鈴木美恵	川畑京子	島田和泉	足立志津子	田中早苗	床井紀範	塚越洋一	金濱高頭	坪田敏孝	鈴木啓太郎	近藤善則
第13号議案	ふじみ野市水道事業給水条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	欠席	×	×	○	○	○	○	○
第15号議案	ふじみ野市立公民館条例を廃止する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	欠席	×	×	○	○	×	×	○
動議	第15号議案 ふじみ野市立公民館条例を廃止する条例に対する附帯決議	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	○	欠席	○	○	×	×	○	○	×
第16号議案	令和6年度ふじみ野市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	欠席	×	×	○	○	○	○	○
第19号議案	令和6年度ふじみ野市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	欠席	×	×	○	○	○	○	○
第20号議案	令和6年度ふじみ野市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	欠席	×	×	○	○	○	○	○
第25号議案	教育長の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	欠席	×	×	○	○	○	○	○
請願第1号	ふじみ野市立公民館条例と上福岡西公民館を廃止しないことを求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	○	欠席	○	○	×	×	○	○	×

※議長は採決には加わっていません。

令和6年度

一般会計予算討論

賛成多数で可決

賛成

新年度予算は約470億で過去2番目の規模

青藍会 原田雄一 議員

歳入は、市税収入が約171億2700万円計上されている。

歳出は、ふじみ野ステラ・イーストホール棟の整備工事、学校校舎や上福岡図書館の大規模改修工事等が計上され、ソフト面でも自治組織や自治防災組織の活動支援をはじめ、生活支援コーディネーターの増員や新たに民生委員協力員制度の導入、こども医療費の拡充、こども家庭センターの設置等の予算が計上されている。

これらは、本市を取り巻く環境や変革する社会・経済情勢への対応が積極的に図られた予算措置であり高く評価できる。

反対

市民生活を守る独自の施策展開が不十分

日本共産党 塚越洋一 議員

物価高騰、実質賃金低下という現実に対する市民生活を守る施策については、一定の努力が一部には見られるが、全体としては極めて不十分である。

大型事業などの投資的経費については、積み立て過ぎている基金を効果的に充当したことにより市の財政は極めて順調かつ健全に推移している。

一方で、物価高騰に対応できるだけの基金を持たない市民の家計は破綻寸前に追い込まれている。学校給食費の無償化も実現されていない。

賛成

持続可能な公共施設サービスに期待

公明党 古越孝子 議員

本予算は約470億7千万円となり、前年度と比較して約8億500万円の減額となった。

歳入では、自主財源の根幹となる市税で、個人市民税の定額減税などにより減額が見込まれるが、国の交付金として補てんされるため、税収としては実質増となっている。

歳出では、各種公共施設の整備を行うため、普通建設事業費全体で約49億4千万円が計上された。持続可能な公共施設サービスの提供につながる予算と評価し、さらなる市民サービスの向上につながるものと期待している。

賛成

セキュリティに配慮したAIの導入を

会派外の議員 金濱高頭 議員

予算編成の内容は物価高騰対策をはじめ、市民活動や市内イベントの活性化、子どもと子育て家庭への支援、災害対策の強化や行政サービスのデジタル化を引き続き実施するために賛同ができるものと考えている。

チャットGPT 4.0の導入に当たっては、先端技術に対応したものと理解する。運用に当たりファクトチェックを必ず行うこと、セキュリティにおいて多角的に考察し常に注意をして扱っていくこと、選択には人が意思決定に関わることを強く要望する。

編集委員がインタビュー

行政手続きのオンライン化を推進

デジタル技術を活用した行政の推進に関する法律の改正があり、市でも行政のオンライン化を推進するために条例の一部改正を行うこととなりました。色々な場所でオンライン手続きの実態や課題、希望などについてインタビューを行いました。

interview 01 東児童センターで聞きました！

Q 行政の手続きで、オンライン申請を利用したことはありますか。

A e-Tax で確定申告をしたり、コンビニで住民票の取得をしたことがあります。

Q これからどのような手続きがオンラインでできるようになってほしいですか。

A 昨年子どもが生まれたのですが、出生届けがオンラインでできれば楽だったと思います。

Q 今後オンラインで完結できる手続きが増えていくことについてどう感じますか。

A 時間の制約も受けないし、窓口で足を運ぶ手間も減るので助かります。ただ、現在の申請システムを実際に使ってみると、分かりにくかったり入力が面倒だったりすることもあるので、新たにオンライン申請になるものについては、ぜひ分かりやすいシステムにしてもらいたいです。



あおき 青木さんご家族

interview 02 高齢福祉課の窓口で聞きました！

Q 市役所の窓口で行っている手続きには、インターネットでできるものがあるのをご存知ですか。

A はい。でもパソコンが苦手なのでやったことはないです。

Q 今日は窓口で書類の提出に来たのですか。

A 私は介護サービス相談員をしていて書類の提出に来たんです。インターネットでもで

きると聞いてはいるのですが、やはり紙でのやり取りの方が安心です。

Q ご家族はパソコンを利用されていますか。

A 家族は仕事などで使っていますが、忙しそうでなかなか教えてもらうのは難しいです。私はこれからも紙で手続きしたいと思うので今まで通りのやり方も残してほしいです。

interview 03 確定申告会場で聞きました！



シルバーで働くハチさん

Q 最近、確定申告などもスマートフォンでできるようになりましたが、いかがですか。

A 国でも推奨しているようだけど、もう少し分かりやすくやり方を紹介してほしいです。実際にスマートフォンでの手続きに挑戦しても、最後までたどり

着けない人が多いようですね。

Q 他にもデジタル化が進み、窓口で足を運ばなくても手続きができることが増えましたが、いかがですか。

A 昔に比べたら便利になっていいと思います。ただ高齢者の中には全く対応できない人もいますので、書類を使っの窓口手続きも引き続きお願いしたいですね。

議会をもっと身近に！議会報告会と意見交換会

ギカイの動き

委員会ごとに内容の異なる報告会・意見交換会を開催します。

市議会では市民の皆さんへ議会の活動や議論について報告するとともに、広くご意見をお聞きするため「議会報告会」を開催しています。

事前の申し込みは不要ですので、お気軽にご参加ください。日時、場所、内容等は以下の通りです。



前回の報告会の様子

総務・教育常任委員会

日時：5月20日（月）から放映開始
場所：市議会公式YouTube及び市ホームページ

内容

○令和6年3月定例会の報告

予約不要

市民・都市常任委員会

日時：7月15日（祝）午後1時から受付
場所：ふじみ野ステラ・ウェスト 1階ギャラリー

内容

○文化施設に関する報告
○意見交換会テーマ「それゆけ！ブンカスペース」

定員30人
(当日受付順)

生活・福祉常任委員会の開催については、順次ホームページ等でお知らせします。

連載企画 事業者へ聞く

街角で市民の健康を支える拠点



おおで 敬祐さん

処方箋の調剤だけでなく、サプリメントや食事指導など健康づくりや病気の予防に力を入れる薬局でお話を伺いました。

Q 漢方も扱っていますが、西洋医学との違いは。

A 西洋医学は病気に対する治療ですが、漢方を始めとする東洋医学はその人の体質や症状に合わせて処方します。

Q 薬剤師の仕事は機械化されますか。

A 機械化すれば、薬剤師はお薬の説明や処方後の副作用のフォローなどに注力できるようになると思います。

Q 健康保険証がマイナンバーカードに代わる影響は。

A マイナンバーカードで薬局に医療情報が開示されれば、医薬品の適正利用につながり減薬もできるかもしれません。情報を知られたくない人もいるでしょうが、メリットも大きいと思います。

Q コロナの影響や製薬会社の供給不足で薬が足りないと聞きますがいかがですか。

A それもあります。でも例えば30錠必要な薬でも100錠単位で購入して70錠は余る

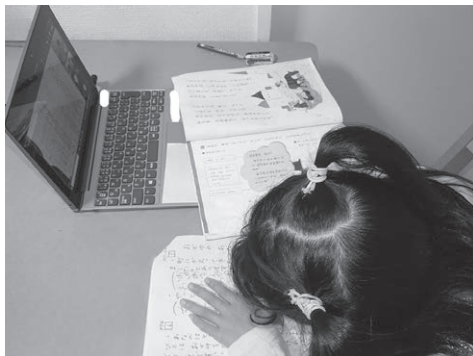
など無駄な在庫も多くあります。それでは必要なところに薬が届かないし、薬局の経営も圧迫します。地域の医療機関がどのような薬を処方して、どの薬局に在庫があるか情報共有できる仕組みが必要です。今後の大きな課題です。

Q 市民の方に一言。

A 病院にかかる前に、病気にならないよう健康を意識しましょう。



健康づくりが一番の仕事



学習用タブレットでオンライン授業

問 小・中学校から家庭に持ち帰った学習用タブレット端末の取り扱いについては、子どもたちのネット依存などの懸念がある。対応は。

答 学校におけるタブレット端末使用による効果と課題を検証しながら、家庭における端末使用のルール作りと実践について、学校と家庭が連携することでタブレット端末の弱点を克服する取り組みを推進する。

公式YouTubeチャンネルの活用

問 公式YouTubeチャンネル等の活用を。

答 各課が運用している公式YouTubeチャンネルについては、市ホームページで一括して把握できるようグループ表示し、関連動画としてひも付けるなど再生回数の増加を図るとともに、魅力ある動画を発信することでシティプロモーションを進めていきたい。

問 SNSに関しては、多くの市民の情報発信、収集ツールとして活用されている。効果的なツールとして更なる活用をしていきたい。

問 教材費集金袋の廃止や口座引落などキャッシュレス化をしては。

答 現状では市内小・中学校の2校が行っている。令和6年度は6校が実施予定である。決着手数料がかかるので、誰が負担をするかが課題だ。今後、学校運営協議会を中心に保護者や教職員等の意見を参考に、双方の負担感の無い集金方法について統一した方法を検討していきたい。



がん患者の支援に関して

問 アピアランスケアを導入しては。

答 国では、医学的・整容的・心理社会的支援を用いて外見の変化を補完し外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケアと定義している。県は令和6年度当初予算にウィッグ等のアピアランスケア用品等の購入費用を助成する市町村に対し、その助成額の一部を補助する事業費用を計上した。

問 本市としても、アピアランスケアは重要であると認識している。他の自治体の取り組み状況なども参考にしながら、アピアランスケア用品等の購入費用の助成事業の必要性を検討していきたい。

問 医療的ケア児に対応した避難所訓練をしては。

答 在宅避難が基本だが、それが困難な時は、福祉避難所、利用している施設、事業所などに直接避難できるように必要な関連施設と協定を結んだ上で避難訓練を実施するなど、当事者家族、関係団体の意見を聞きながら検討する。

問 点字ブロックの経年劣化、損耗の現状と対応は。

答 点字ブロックの現状は、設置から数十年経過したものが多い。補修対応は、年3回実施している道路施設安全点検や日常のパトロールで損傷を発見した場合や市民から通報があった場合など、その都度速やかに状況を



可愛いマンホールを探そう！

問 郷土愛や一体感醸成にメモリアルマンホール蓋を製作しては。

答 市制施行20周年記念事業でロゴマーク等の製作が検討されているので、マンホール蓋にデザインできるような関係部署と調整していく。

問 使用済みマンホール蓋を売却しては。

答 改定作業中の下水道事業経営戦略において収入増加に係る具体的取り組みとして位置付けており、引き続き先進事例を参考に研究する。

ごみ処理コスト、CO₂排出量削減

問 ごみ削減に向けた市民への啓発は。

答 令和4年度は資源ごみの売却で1億円を超える収入があった。可燃ごみの削減と資源ごみの売却収入増に向け、引き続きごみの分別の意識を促す取り組みを行っている。

問 マンホール広告の導入予定は。

答 先進市の所沢市では、職員の営業努力もあり22カ所のマンホール広告を設置し、約260万円の収益となった。本市では広告の設置場所として上福岡駅や大型商業施設周辺が考えられるが、企業ニーズを満たすために何が必要か今後も研究していく。



家庭でのタブレット学習の課題

川島 秀男 議員



教材費のキャッシュレス化を

鈴木 宏樹 議員



マンホールの活用と収益化

板倉 篤 議員

市政を問う！

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、16人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。(5月末掲載予定)



命を守る地震対策

坪田 敏孝 議員

問 能登半島地震では、耐震性のない住宅が倒壊し、多くの人が犠牲となった。耐震診断と耐震改修補助金を対象者に個別にお知らせしては。

答 個別通知は難しいが、他市等の事例を調べたい。

問 地震時の火災発生への対策が必要だ。電気復旧時の通電火災を防ぐ感震ブレーカー設置の啓発の方法は。

答 家具の固定や感震ブレーカーの設置の重要性については、春と秋の火災予防運動期間に市報に分かりやすい記事を掲載したい。

問 建ぺい率の高い準防火地域で、防火措置がとられていない建物への対応は。

答 既存不適格建物が存在することは承知している。準防火地域に限らず、市の全域で住宅の不燃



震災地域の炊き出し支援

化を研究したい。

問 障がい者医療的ケアのある人など要配慮者の福祉避難所の受入体制は。

答 法律の施行規則が変わり、受入対象者を特定することになった。現在、個別避難計画の策定の中で検討を進めている。

問 医療的ケア児に対応した避難所訓練をしては。

答 在宅避難が基本だが、それが困難な時は、福祉避難所、利用している施設、事業所などに直接避難できるように必要な関連施設と協定を結んだ上で避難訓練を実施するなど、当事者家族、関係団体の意見を聞きながら検討する。

視覚障がい者も歩きやすい通行空間を

問 点字ブロックの経年劣化、損耗の現状と対応は。

答 点字ブロックの現状は、設置から数十年経過したものが多い。補修対応は、年3回実施している道路施設安全点検や日常のパトロールで損傷を発見した場合や市民から通報があった場合など、その都度速やかに状況を

問 点字ブロックの現状は、設置から数十年経過したものが多い。補修対応は、年3回実施している道路施設安全点検や日常のパトロールで損傷を発見した場合や市民から通報があった場合など、その都度速やかに状況を



点字ブロックの修繕が急がれる



災害時に支援を必要とする人への備え

加藤 恵一 議員

*道路損傷通報システム…道路の穴など損傷を発見した際に、スマートフォンやパソコンなどで損傷状況の写真や位置情報などを通報するシステム



災害時の対策

前田 広子 議員

問 水道管の耐震化の現状は。

答 内径100mm以上の配水管の耐震化率は81%となっている。老朽管の更新時には同時に耐震化対策を行っている。今後も市内配水管全体に係る耐震化率向上に努めていく。

問 住宅の耐震化について取り組みは。

答 耐震診断及び耐震改修等の支援策の情報提供や、木造住宅の耐震化やリフォームの相談会を開催し、耐震化の向上につなげていく。

部活動の地域移行

問 市の対応は。

答 国は令和4年に学校部活動の在り方等に関するガイドラインを示している。今後、拠点校の種目を設定するなど持続可能な部活動実現に向け検討していく。

公園遊具の充実を

問 公園遊具の更なる充実が必要だ。市の考えは。

答 利用者の多い公園を中心に遊具の更新や新規に設置を行っている状況である。

問 大型遊具を導入しては。

答 令和6年度に東久保中央公園にインクルーシブな複合遊具を設置する計画である。



大人気のスライダー



住民による災害救助

民部 佳代 議員



助けるのはあなた（写真提供：神戸市）

問 今後研究する。

答 救助用資機材の保管場所が分かるように。

問 防災倉庫の外部に救助機材があることの表示を検討する。

東台小学校の統合に向けて

問 学区審議会で令和7年4月に東台小が東原小に統合する答申が出た。対応は。

答 学校、保護者、地域が連携して準備を進める組織を支援し、教員業務支援員などの増員やスクールカウンセラーが常駐する相談室を設置するなどサポート体制を整備する。

問 放課後児童クラブは。希望者全員が入室できるよう東原放課後児童クラブに新たな建物を設置し、定員80名、2支援単位を増設する。

問 大規模災害時に公的機関に救助される人はわずかで、多くは家族や近所の人に救助される。ボールや油圧ジャッキ、ノコギリなど救助用資機材の備えは。

答 各小・中学校の防災倉庫や防災備蓄品管理倉庫に保管している。また、自主防災組織へも補助制度を実施している。



ペット防災の充実を

金濱 高顕 議員



一緒に連れてって

れスペースを確保した。今後もペットの良好な環境の確保に向けて、協議を重ねていく。

都市計画道路の今後

問 未着手の都市計画道路は、その必要性について検討が必要ではないか。

答 事業の必要性を再検証し、見直しを行っている。

問 苗間地域は住宅も増え、子どもたちも増えている。勝瀬苗間通り2号線の今後は。

答 土地区画整理事業以外の整備手法で整備ができないか模索している。

問 その整備手法で、交通の安全と安心を守ることはできるか。

答 既存の都市基盤を活用しつつ、ゆとりある安全、安心な住環境の形成を目指す。



切れ目のない乳幼児健診を

古越 孝子 議員

問 市の現状は。

答 4カ月、1歳6カ月、3歳児の健診と10カ月児相談を保健センター、大井総合支所保健センター分室の2会場で毎月行っている。

問 1ヵ月健診と5歳児健診を実施する市町村へ今年1月から国の助成事業が始まった。

答 就学に向けて療育が始められる5歳児健診を導入してみている。

問 国の要綱では集団健診が原則で、人材や会場確保が大きな課題となる。



子どもの成長と健康を見守る

る。導入は他自治体の取り組み状況や市医師会の意見も考慮し研究する。

問 プライバシーや心身に配慮した健康診断について市の現状や対応は。

答 健康診断時のみならず、衣服の着脱や検査を待つ児童・生徒のプライバシー保護にも配慮した、適切な健康診断の実施を各学校で実施している。

学校健診の環境整備

問 プライバシーや心身に配慮した健康診断について市の現状や対応は。

答 健康診断時のみならず、衣服の着脱や検査を待つ児童・生徒のプライバシー保護にも配慮した、適切な健康診断の実施を各学校で実施している。

問 引き続き、児童・生徒の身体的プライバシー保護の観点に十分配慮していく。



防災対策の強化を

川畑 京子 議員

問 避難所や防災倉庫へ自動解錠ボックスの設置はできないか。

答 避難所の開設に先立って必須となる、施設の安全確認や課題解決を含め研究していく。

問 トイレトレーラーの導入はできないか。

答 重量があり、設置場所に一定の条件がある。また、けん引に係る免許が必要であるなど、運営に課題がある。導入の必要性について研究していく。



被災地にトイレトレーラー

問 送迎保育ステーションの検討は。

答 待機児童数の状況や、コンパクトな街という市の特徴を踏まえながら、児童と保護者の双方に望ましい保育の形を研究していく。

問 おむつのサブスクの導入は。

答 他市の実証実験の結果を公立保育所での研究材料とするほか、私立保育園にも情報提供していく。



自主防災組織の充実を

塚越 洋一 議員

問 大規模災害時に行政ができることには限界がある。地域の自主防災組織は高齢者が中心の状況である。充実強化を図るべきでは。

答 人材の確保と育成をどのように担保していくかは市全体の共有課題である。機能強化につながる取り組みを進めるとともに、限られた人材を有効に活用する体制づくりについても研究していく。

大規模災害時のインフラ確保の備え

問 通信手段が全て途絶したときの備えは。

答 小型無線機、IP電話、衛星電話など、通信の多重化を図っている。

問 停電時の電源確保は。

答 市役所や大井総合支所は非常用発電機で72時間使用可能である。学校体育館に整備されている。

大井通信所周辺の特別注視区域は

問 市として説明会を行うべきでは。

答 実施主体は内閣府であり、市が独自で説明会の開催を判断するものは考えていない。



みんなで備えよう災害に



不登校の児童・生徒への対応は

床井 紀範議員

問 小・中学校の不登校の現状は。

答 令和5年12月末日において、小学校では84人、中学校では148人である。

問 スクールソーシャルワーカーの加配による相談体制の強化を。

答 現状は1人配置だが、2人配置するよう県に申請している。

問 タブレット端末を活用した授業への参加は。

答 オンライン授業等を充実させる。それとともに、教育相談的アプローチを進め、学校復帰を目指すしていく。

保育士確保に向けて

問 処遇改善費の増額と家賃補助制度の創設を。

答 収入面では公定価格に含まれる処遇改善加算に加え、市独自で保育士給与調整事業を実施して



これから楽しい保育園

いる。その他、保育園の土地賃借料の助成を行っている。

業務面では公立保育所において令和5年度からICTを導入した。私立保育園においては市が一部経費を負担し、煩雑な運営費等の申請業務へのシステムの導入により、職員の負担軽減を図っている。

なお、現時点では家賃補助制度の創設は考えていない。



公共施設の鍵ももっとスマートに

小林 憲人議員



鍵を開けるために 朝早くから

ペーパーレス化の推進を。
答 職員業務における数値目標は設けていない。今後も電子決裁率の向上及びペーパーレス化の推進により、業務の効率化に努めていく。

認知症と共に生きる社会の実現を

問 共生社会の実現を推進するための認知症基本法には、認知症施策推進計画の策定が明記されている。対応は。

答 本市の実情に即した推進計画を、国や県の計画を踏まえて策定したい。

子育て短期支援事業の導入を

問 ショートステイを導入すべきでは。

答 実施している施策のメリットを生かしつつ、ショートステイも検討していく。



難解な行政文章を分かりやすくしては

鈴木 啓太郎議員

問 例えば非課税世帯への給付金の確認書に「住民税が課せられている者の扶養親族だけの世帯ではありません」というチェック欄がある。分かりにくくはないか。

答 文章は正確で適正であると考えている。

遊歩道と土手をつなぐ

問 国道254号バイパスに建てられている物流倉庫の遊歩道と新河岸川の土手に歩行者が通れる道を作っては。

答 具体的な提案が出された段階で考えたい。



特殊詐欺を許すな

原田 雄一議員

問 特殊詐欺等対策機器の無償貸与は。

答 既に補助制度を利用して購入した人との公平性などから無償貸与には課題がある。引き続き補助制度を継続する。

エコパの管理運営状況を問う

下した白線等路面表示の修繕を実施している。

問 修繕したばかりのバーデプールの天井が歪んだ原因と対策は。

答 屋根と天井の距離が近く夏の酷暑時においてふく射熱が発生し、屋根裏が高温に熱せられ断熱材が膨張限界を超えた。対策として温度観測装置を設置し、換気や蓄熱防止塗装を行う。



録音メッセージで詐欺を防止

路面表示の維持管理

問 通学路などの道路の白線が消えている。新しい白線の引き直しを。

答 市民から要望の多い地域は、汚れ・剥離・経年劣化により視認性が低



補聴器購入補助制度の創設を

足立 志津子議員

問 政策効果と導入の考えは。

答 中等度の難聴からの補聴器使用は認知症予防につながる可能性がある。他自治体の導入効果を研究したい。

災害時の仮設住宅の確保

問 応急仮設住宅の確保は。

答 民間借上げ等で不足する場合、市が確保した用地に県が建設する。現在、総合体育館駐車場などを想定している。

産業団地開発における課題と対応

問 国道254号バイパス沿線の産業団地の調整池整備は、荒川右岸流域下水道破損復旧工事との関係で、雨季までに間に合うのか。

答 雨水対策は、土地区



産業団地で車が増えることも

幼児教育と学校教育の連携

問 子どもの成長に必要な3つの間、時間・空間・仲間を保障する面からの連携は。

答 幼保小架け橋プログラムの採用している地域の実践等を参考にしながら、連携の取り組みを充実したい。



大分市で子育て支援施策を学ぶ

生活・福祉常任委員会

子育て支援施策、ヤングケアラー支援施策を学ぶ

生活・福祉常任委員会で、1月24日・25日の日程で大分県中津市及び大分市を視察しました。

視察報告

中津市では乳幼児教育振興プログラム「あそびのすすめ」や5歳児から小学1年生までの幼保小架け橋プログラムの取り組みについて学んだ。また、駅前商業施設内に設置されたプレイルームを視察した。

大分市では「子育て世帯・ヤングケアラー等訪問支援事業」「子ども等見守り訪問応援事業」で訪問と関係各課との連携で、支援につながっていることを学んだ。両市の子育て施策を、本市での政策にも生かしていきたい。

編集委員が
インタビュー！

表紙：働く人シリーズに寄せて

スポーツジムインストラクターに伺いました

Q お仕事のきっかけは何ですか。

A 専門学校ではスポーツトレーナー育成校に通っていました。フィットネスクラブでアルバイトをした時、従業員として一般の人に運動指導をしたいとの思いが強くなり、就職先にフィットネスクラブを選びました。

Q お仕事の内容を教えてください。

A トレーニングマシンを使っている運動指導をはじめ、パーソナルトレーニングや少人数のレッスンをスタジオで行っています。子どものスイミングスクールのコーチの補助、プールの監視業務も行っています。

Q 日々のやりがいは何ですか。

A お客様と一緒に目標に向かって頑張っている、お客様から感謝されることが嬉しいです。お客様の運動指導のほか、従業員の指導や研

修を通じて、人の成長に携われることがやりがいです。

多くのお客様に通っていただき、気持ちよく通えるフィットネスクラブを作っていくことが使命です。

Q 市民の皆さんに一言お願いします。

A 日本のフィットネス人口は約3%とされています。運動している人が少ないと感じています。

自分の心と身体のため、健康維持のために、ぜひ、運動を始めてください。

たけだ じゅんぺい
武田 淳平 さん

市議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。
市議会の会議録も見られます。
録画放映やSNS もご覧ください。

ふじみ野市議会

検索



3月定例会の傍聴者は63人でした。

次の定例会の
開会予定：6月3日 午前9:30～

市役所4階議場で開催します

請願締切予定：5月24日 午前10:00

議会広報常任委員会

委員長	鈴木 美恵	副委員長	床井 紀範
委員	古越 孝子	委員	川島 秀男
委員	板倉 篤	委員	田中 早苗
委員	民部 佳代		

表紙の題字を書いてくれた人

花の木中学校3年 佐藤 美花さん

ふじみ野



ふじみ野市は、前を向くと美しい富士山が見え、足元を見るとたくさんのきれいなお花が咲く道があり、とても良いまちだと思います。きれいなまちづくりに貢献してくれる方々のおかげで毎日笑顔で過ごせます。私もふじみ野市をより良くするために貢献していきたいです。

編集後記

いつも議会だよりをお読みいただきありがとうございます。
昨年4月の選挙で私を含め6名の新たな顔ぶれが加わったふじみ野市議会。年4回開かれる議会も3月の定例会をもって無事ひと回りを終えることができました。

これからも市民目線を忘れることなく、私たち議会の仕事、ふじみ野市の進む方向性、約11万人の市民生活を支える行政の仕事の一端を分かりやすくお伝えしていくことができるように努めていきます。

今号はゴールデンウィーク前の配布になりますので、お読みいただいている今もご家族と過ごされている方も多いのではないのでしょうか。本紙がご家族一緒にこのまちのことを考え、話し合っていたくきっかけになれば幸いです。

(板倉 篤)